

部活動などの活躍

《バレーボール部》

荒川区中学校バレーボール新人大会 **第3位**



バレーボール部の皆さん

《英語科》

東京成徳大学高等学校主催

第3回桐蔭杯中中学生英語レシテーションコンテスト出場

〇〇〇〇くん(3-2)、〇〇〇〇くん(3-2)



〇くん(左)と〇〇くん(右)

《日本漢字能力検定》

2級 〇〇〇〇さん(2-3)

準2級 〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-3)、
〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-4)、
〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-3)

わくわく街歩き探検隊ボランティア 感謝状

- 〈3年1組〉 〇〇〇〇さん 〈3年2組〉 〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん
- 〈3年3組〉 〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん
- 〈2年1組〉 〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、
〇〇〇〇さん 〈2年2組〉 〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん
- 〈1年3組〉 〇〇〇〇くん

南千住マイスターのコーナー

光の球場は1972年に閉鎖されるまで賑わいを見せて、その後、現在の荒川スポーツセンターに姿を変えています。

物もあまりなく、最新の電光掲示板や照明灯による強烈なナイター照明で、「光の球場」と親しまれていました。また、ボーリング場やシーズンオフにはアイススケートリンクなども設置され、「下町の太陽」とも呼ばれていました。

光の球場は1972年に閉鎖されるまで賑わいを見せて、その後、現在の荒川スポーツセンターに姿を変えています。

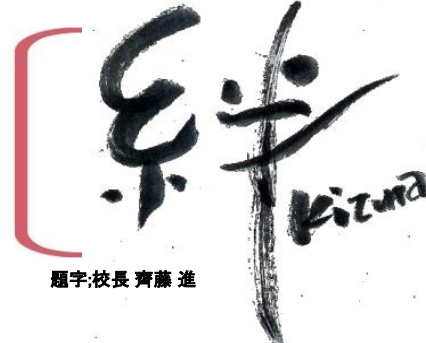


光の球場
東京スタジアム

南千住の史跡・文化財 特別編 『光の球場(東京スタジアム)』

東京スタジアムの模型が完成し、玄関ホールに展示されました。今回は妖怪絵巻をお休みし、この東京スタジアムについて紹介します。

赤レンガの東京製絨所の跡地にできたのがプロ野球パリーグアシックスリーグ、大毎(毎日大映)オリオンズの本拠地となった「東京スタジアム」、通称「東京球場」です。当時、在京球団の読売ジャイアンツ、国鉄スワローズ、そして大毎オリオンズは、いずれも後楽園球場(現・東京ドーム)を本拠地にしていました。当然日程は過密になり、大毎は自前の本拠地球場の建設を目指しました。いくつかの候補地の中から選ばれたのが、ここ千住製絨所跡地でした。製絨所閉鎖から1年で着工、さらにわずか1年後の1962年5月31日に竣工しました。同6月2日にはパリーグ6球団が集結し、開場式が盛大に行われました。時は巨人のV9全盛期で、プロ野球はセリーグ偏重の感がありました。開場式では大毎のオーナーが「パリーグを愛してやっつて下さい」と満員(35,000人)に膨れ上がったスタンドに向かって叫んだといわれます。球場初となるプロ野球公式戦は、同日午後7時から行われた大毎オリオンズ対南海ホークス戦で、野村克也選手が球場第1号のホームランを放っています。野村氏はヤクルトスワローズや田中将大選手を育てた楽天イーグルスの監督を務めた有名な名將です。大毎オリオンズはその後、東京オリオンズ、ロッテオリオンズ、千葉ロッテマリーンズと名を変え、現在に至っています。当時の南千住には高い建物もあまりなく、最新の電光掲示板や照明灯による強烈なナイター照明で、「光の球場」と親しまれていました。また、ボーリング場やシーズンオフにはアイススケートリンクなども設置され、「下町の太陽」とも呼ばれていました。



題字:校長 齊藤 進



学校だより
令和元年10月
第99号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

創立30周年記念式典式辞

校長 齊藤 進

平成元年に第二中学校と南千住中学校が統合し30年を経て令和の時代を迎えました。南千住は下町情緒豊かで人情に厚い町です。夏を迎えると天王祭が催され、老若男女が神輿を担ぎ町は祭り一色に染まります。

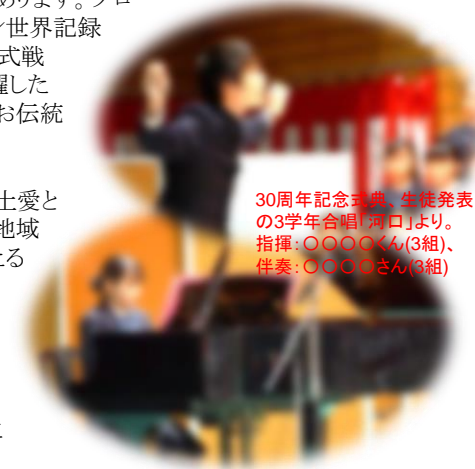
南千住の歴史は古く、奈良時代にさかのぼり今日まで**歴史上重要な出来事が舞台となった地域**でもあります。杉田玄白が**解体新書**を著し、吉田松陰、橋本左内などが埋葬された寺や、徳川家康が江戸で初めて架橋し、松尾芭蕉が奥の細道に出立した**千住大橋**も近くにあります。

作家吉村昭氏、池波正太郎氏、佐伯泰英氏などの多くの時代小説では小塚原、三ノ輪、大川、橋場、千住宿など南千住が舞台となっています。明治期には総合スポーツセンターと都立荒川工業高校の敷地に内務大臣大久保利通公により、日本で初めて軍服を製造した**千住製絨所**がありました。今も残る赤レンガ塀が当時を物語っています。近代では紡績工場など大規模工場が多く集まり、目覚ましく工業が発展しました。漫才や落語、浪曲などで一世を風靡した内海桂子師匠、五代目三遊亭円楽、初代林家三平、三波春夫、村田英雄などが活躍し東京漫才発祥の地として知られるコツ通りに面した**栗本商店**も当時の面影をとどめています。なお、コツ通りは第1回東京オリンピックで聖火ランナーが走った通りでもあります。プロ野球のスーパースター現ソフトバンクホークス会長でホームラン世界記録保持者の王貞治氏や巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄氏、公式戦第1号ホームランを放ったプロ野球元監督野村克也氏らが活躍した**東京スタジアム**もかつてはこの地にありました。そして、今もお伝統工芸を受け継ぐ職人の方々が多い地域でもあります。

そこで「南千住の歴史を語る南二中学生に」を合い言葉に、郷土愛と郷土への誇りを持つ生徒の育成を目的として平成23年度から地域学習を始めました。そして本校独自に開発した96ページにわたる「歩いて学ぼう南千住検定」のテキストを活用した南千住検定も今年度で8年目を迎えます。9月に行われた検定では**南千住マイスターが4名誕生**するとともに多くの生徒が級を取得するなど毎年大きな成果を上げています。また、青少年育成南千住地区委員会と連携し毎年9月に行われる「わくわく街歩き探検隊」では本校のボランティア生徒が小学生と一緒に南千住の名所旧跡を歩き観光ガイドとして活躍しています。

本校玄関ホールには東京スタジアムの他に**東京スカイツリー**、**東京電灯千住発電所**そして**おばけ煙突の模型**が展示されています。おばけ煙突の前身である当時日本最大の東京電灯千住発電所は明治時代この南二中の敷地にありました。学校の敷地が高くなっているのは隅田川が氾濫しても水害から電気を守ることができるからです。

ところでスカイツリーのデザインを監修された元東京芸術大学学長澄川喜一氏によると、スカイツリーのデザインは上野の山から見たかつて足立区千住にあったおばけ煙突であるとNHKのインタビューに答えられました。角度によって異なる姿に見えることがその理由だそうです。こうしてみるとスカイツリーのルーツのおばけ煙突、そのルーツの発電所、発電所があった南二中と、スカイツリーのデザインの原点をさかのぼれば南二中であると言えます。



30周年記念式典、生徒発表の3学年合唱「河口」より。指揮:〇〇〇〇くん(3組)、伴奏:〇〇〇〇さん(3組)



瑞光町会防災訓練

9月29日(日)、地元の瑞光町会で防災訓練が行われました。南千住二中のレスキュー部は毎年この訓練に参加しており、今年は3年生8名、2年生2名の計10名が参加しました。

訓練では、消火器による初期消火、少し大きめのC級ポンプでの放水、AEDを使った救急救命、三角巾による応急手当、また、煙が充満した空間を体験する煙ハウス体験などが行われました。**南千住二中レスキュー部は、協力し合い的確に訓練に臨み、見学や体験にいらしていた地域の方々から賛辞とともに、防災時の若い力に期待する声もいただきました。**



ボランティア参加者の皆さん

瑞光町会防災訓練ボランティア参加者

- <3年1組>〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん
- <3年2組>〇〇〇〇さん
- <3年4組>〇〇〇〇くん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん
- <2年2組>〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん



救急救命訓練

消火訓練

道徳授業地区公開講座



1年生



2年生



3年生

9月の授業公開日に道徳授業地区公開講座が行われました。今回の授業テーマは、**1年生「真理を探究する」、2年生「郷土を愛する態度」、3年生「希望と勇気、克己と強い意志」**でした。1年生は、北海道の町工場で宇宙開発を行う植松努さんの“**「どうせ無理」という言葉に負けない**”を読み、“**「どうせ無理」という言葉について**”考えました。2年生は、秋田の竿燈まつりを通して、地域の伝統や文化を誇りに思う心を育みました。3年生は、今年の夏、高校野球岩手県大会決勝で準決勝までほぼ完璧な投球だった投手の投球障害を憂慮し、起用を断念した大船渡高校の選択について、クラスでディスカッションを行いました。白熱した意見交換を通して、他の意見を聞き、自分の考えを広げ深めることができました。

協議会では、PTAや評議員の皆さんと教員で活発な意見交換が行われ、中学生の道徳教育の果たす役割への重要性と期待を改めて確認させていただきました。ご来校の皆さま、ありがとうございました。

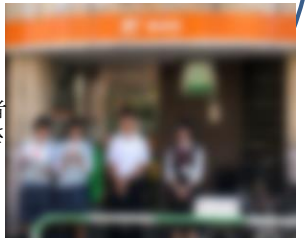


8月豪雨災害・台風15号千葉県災害 義援金緊急募金活動

今年8月、記録的な大雨を観測した九州北部地方では、大規模な河川の氾濫や土砂崩れなどにより甚大な被害に見舞われました。また、9月には、台風15号が関東へ上陸。強風により千葉県南部を中心に、長期間に及ぶ停電や断水が発生し、住民の生活に多大な影響が及びました。10月には、台風19号の豪雨により関東・東北地方で多くの河川の堤防が決壊し、いまだ被害の全容が判明せず、復旧作業にはかなりの時間を要すと見られます。

その一報を受け、**前期委員長の〇〇〇〇さん(3-2)の呼びかけでJRC委員会がすぐに集められ、被災者支援について話し合い、緊急支援として9月下旬の4日間に募金活動を行うことになりました。**生徒やご家族、教職員の協力と善意で集まった募金は、合わせて11,166円に上り、JRC委員会によって荒川南千住五郵便局から日本赤十字社へ災害義援金として送られました。

今後、被災地の復興や被災者支援に役立てられます。皆さまのご協力、ありがとうございました。



さて、同じく平成23年度には**青少年赤十字**に全校加盟し、「**気づき、考え、実行する**」を合言葉に様々なボランティア活動を行っています。活動の一環として東日本大震災を教訓とし、平成24年度から防災意識の向上と地域貢献を目的に「**レスキュー部**」をつくりました。創部8年目の現在、**部員数は全校生徒の約7割にあたる237名で学校内外の防災訓練や地域でのボランティア活動など年間10を超える活動を地域と一体となって行っています。**さらにスーパーレスキュー部を発足し、より高度な防災知識を学習したり訓練を行ったりしています。

特徴的な活動として、地域の方々と触れ合う**絆ネットワーク活動と保育園との合同避難訓練**があります。絆ネットワーク活動を始めた理由として、災害時に学校が避難所となることからご高齢の方々や身体が不自由な方々を円滑に避難誘導し飲料水や食事などを提供するなど生活支援が必要であると考えました。そのため日ごろから地域の方々や顔見知りになることが大切であると考え、6年前から毎月学校だよりや行事の案内等を地域の方々にお届けする活動を行っています。また、日中大きな災害が発生した時、多くの大人は地域を離れ仕事に出かけます。地元保育園には120名を超える園児がいます。小さな園児を避難所まで誘導し生活支援をするには保育士さんだけでは手が足りません。そこで園児たちの支援に中学生の力が必要であると考え、レスキュー部員が地元保育園に出向き、園児たちを学校まで避難誘導する訓練を行っています。**レスキュー部の活動は全国的にも注目され、多くの方々から高い評価を頂いています。**

このような活動が認められ、**30年度平成最後の全国赤十字大会では明治神宮会館で日本赤十字社名誉総裁、皇后陛下、副総裁皇太子妃殿下、秋篠宮妃殿下、寛仁親王妃殿下、高円宮妃殿下ご臨席のもとレスキュー部部長が実践活動報告を行いました。**その際、岡村哲夫前瑞光町会会長をはじめ町会の方々や保育園児とレスキュー部員とが触れ合う写真を皇后陛下をはじめ各妃殿下、そして2千名の会場の方々にご覧いただきました。終了後、皇后陛下、現上皇后さまからは「今日は本当にありがとう」と何度も言われ、「地域の人と一緒にこれからも活動を頑張ってください」とのお言葉を頂きました。皇太子妃雅子様、現皇后陛下からは「中学生はまだこれから可能性がたくさんあります。レスキュー部の活動はなかなかない活動なので広めていけるようこれからもがんばってください」とのお言葉を頂きました。各妃殿下からも同様に温かいお言葉を頂きました。このことは本校にとりましては大変に名誉なことであり今後の活動の大きな励みとなりました。これからも**防災拠点として地域を支える使命を担っていきたい**と思います。

本校が取り組んでいる地域学習と防災教育を通して生徒には**地域と学校への愛着と誇り**が芽生えるとともに生徒自身が人や地域社会の役に立っていると実感するなど**自己肯定感**が確実に育まれています。2020オリンピック・パラリンピックイヤーを迎えこのことを礎として荒川区や南千住の魅力を国内外の方々へ伝えることのできる生徒の育成と、「**南千住そして荒川区大好き**」という生徒の育成に一層努めてまいります。今後とも本校の教育活動に暖かいご指導と絶大なご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

記念式典生徒発表のようす

3学年学年合唱
「筑後川より 河口」
筑後川と隅田川を重ねて、
河口へと続く川の流れに
夢と希望を託す言葉ひとつ
ひとつに思いを込めて、
圧巻の歌声で歌い上げました。



30周年を迎えた南千住二中への誇りと感謝を胸に、高らかに歌う3学年の皆さん。会場は感動の渦に包まれました。

生徒会本部発表
「**南千住第二中学校の特色**」
生徒会本部では、20周年から30周年までの10年間を中心に、南千住二中の特色ある活動をスライドにまとめて発表しました。